

福岡県工業技術センターの概要

企画管理部・化学繊維研究所

〒818-8540 筑紫野市上古賀3-2-1
TEL 092-925-7721(代表) FAX 092-925-7724

生物食品研究所

〒839-0861 久留米市合川町1465-5
TEL 0942-30-6644(代表) FAX 0942-30-7244

インテリア研究所

〒831-0031 大川市上巻405-3
TEL 0944-86-3259(代表) FAX 0944-86-4744

機械電子研究所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松3-6-1
TEL 093-691-0260(代表) FAX 093-691-0252

【対応可能分野】

化学

繊維

バイオ

食品

製紙

木材

デザイン

金属

機械

加工

電気

その他

【支援メニュー】



○研究開発

企業の競争力向上や事業の拡大に貢献し、その成果を企業での事業化につなげていきます。さらに、企業のニーズ把握を行い、出口戦略を持って進めていきます。

○人材育成

生産現場のものづくりを担う人材や新たな技術を開発する人材の育成を目指し、受託研修や技術講習会などを行います。

○技術相談

企業が求める製品開発などの相談は、職員が連携・協力し効率的に達成する組織連携型の技術相談対応を推進し、的確な支援を進めます。

○情報収集・提供

企業等と工業技術センターとの間で十分に理解を深めるために、企業現場への積極的な訪問による企業ニーズと業界状況の把握やセンターと国や県の公的機関が持つ支援機能を積極的に情報発信・周知します。

○技術交流

技術研究会活動の推進、産学官交流・連携の促進により、研究開発プロジェクトの創出や関連機関との連携強化を図ります。

○試験分析

新たな製品化、事業化につながる試験分析を行います。機器を利用することもできます。

○コーディネート

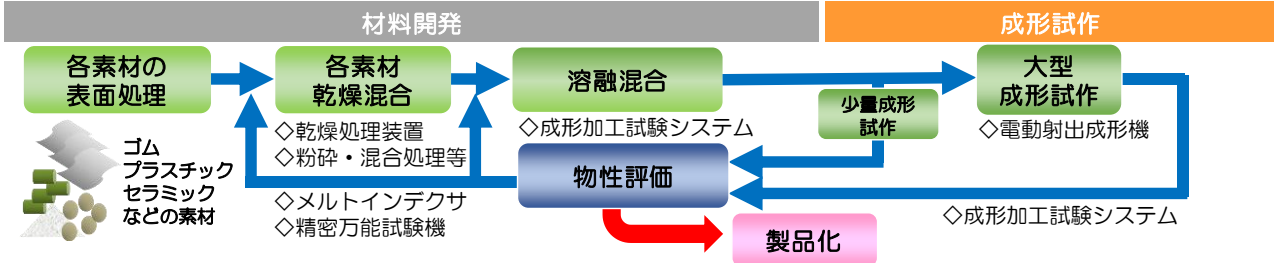
研究開発だけにとどまらず、それぞれのステージに合った支援や調整を支援機関と連携・協力し、事業化までの支援を行います。

【研究開発内容・分野】

県内の産業構造変化や産業振興施策に基づいて、重点的に支援する分野を定め、その開発環境整備や共同研究、人材育成等を積極的に進めています。

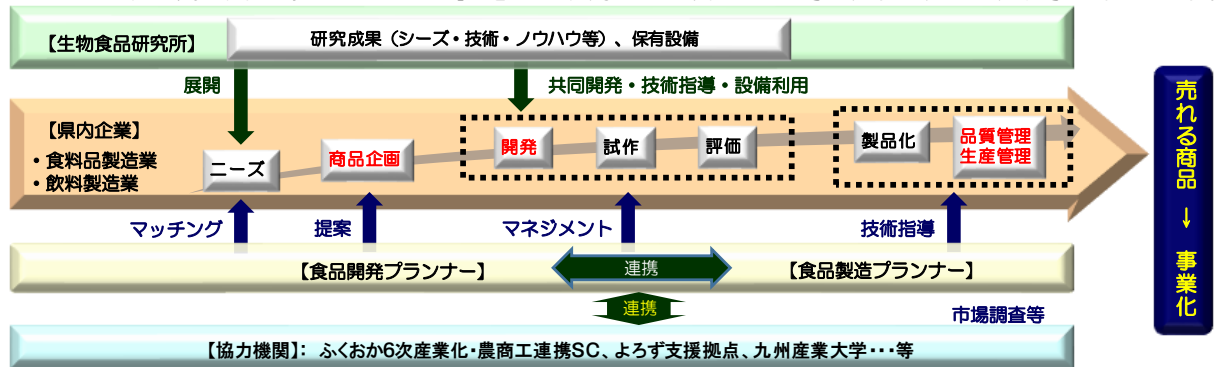
高分子材料開発支援ラボ(平成30年5月 化学繊維研究所内に開設)

- 概要
- ・高分子材料(ゴム・プラスチック)やフィラー(セラミック、繊維等)の前処理から配合、加工、評価まで一連の開発が可能です。
 - ・企業では対応困難な少量の原料素材での混合ができるため、多品種のサンプル作製が可能です。
 - ・ゴム・プラスチックに関する人材育成事業の実施と共に、製品の開発に関する幅広い相談等に対応します。



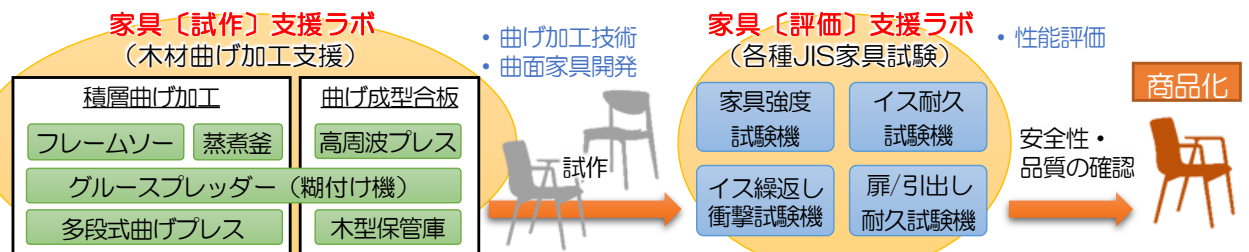
ふくおか食品開発支援センター(平成26年11月 生物食品研究所内に開設)

- 概要
- ・加工機器及び分析機器を整備し、食品の加工から評価・助言まで一連の試作支援を行います。
 - ・「食品開発、食品製造プランナー」を配置し、商品企画や食品加工等に関する幅広い相談等に対応します。



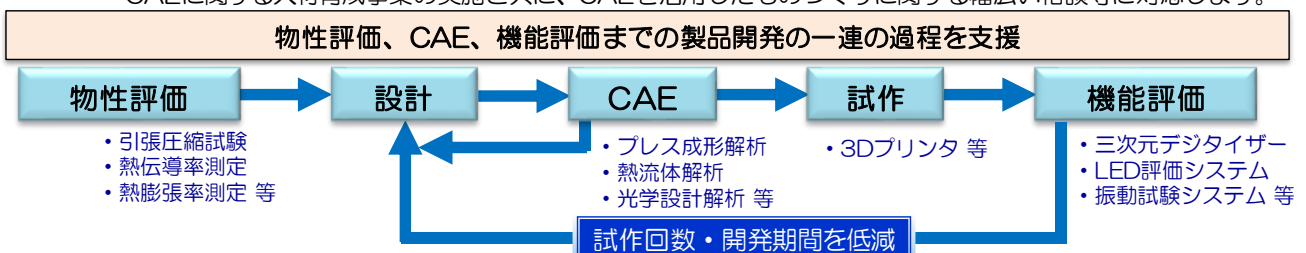
家具試作・評価支援ラボ(令和元年5月 インテリア研究所内に開設)

- 概要
- ・木材の曲げ加工に関連する機器を整備し、曲面を持つ新しいデザインの家具の試作開発を支援します。
 - ・JISに準じた家具の試験が可能な機器を取り揃え、家具の安全性・品質等の性能評価を支援します。



CAE支援ラボ(平成27年9月 機械電子研究所内に開設)

- 概要
- ・CAE(シミュレーションによる設計、製造支援)のためのソフトウェア及び評価機器等を整備し、製品開発の一連の過程を支援します。
 - ・CAEに関する人材育成事業の実施と共に、CAEを活用したものづくりに関する幅広い相談等に対応します。





精密万能試験機

材料・製品の引張、曲げ、圧縮等の強度試験ができます。



成形加工試験システム

ゴム・プラスチック製品の少量・多品種試作が可能です。



ガーメントプリンタ

様々な布素材に直接印刷することができます。



食品物性試験機

食品の破断強度、テクスチャーなどを測定できます。



大型凍結乾燥機

各種フリーズドライ食品の試作が可能です。



レトルト殺菌機

高圧・高温で湿熱殺菌してレトルト食品を試作できます。



家具強度試験機

いすやテーブルなど家具の製品強度試験ができます。



フレームソー

木の板材をスライスして薄板に加工することができます。



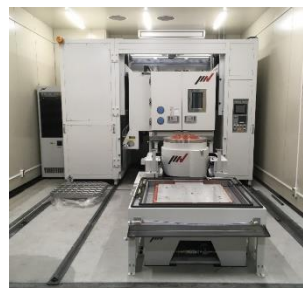
多段曲げプレス

積層した薄板や無垢材を曲げ加工することができます。



非接触三次元測定機

機械加工部品などの形状寸法を測定することができます。



振動試験システム

機械・電子部品等の振動試験に活用できます。



マルチ樹脂材料3Dプリンタ

熱可塑性樹脂を使用した最終製品の造形が可能です。